



Guard

ユーザ ガイド

Guard: ユーザ ガイド

発行日 火曜日, 13. 1 月 2015 バージョン 1.2.0

製作著作 © 2006-2015 OPEN-XCHANGE Inc. , このドキュメントは Open-Xchange Inc. の知的所有物です。

このドキュメントの全部または一部をコピーする場合、各コピーにこの著作権情報を明記する必要があります。このドキュメントの内容は細心の注意を払って編集されていますが、情報の誤りを完全に排除することはできません。Open-Xchange Inc.、著者、および翻訳者は、記述の誤りとそれによって生じる結果について、いかなる責任も負うものではありません。このドキュメントで使用されるソフトウェアの名称およびハードウェアの名称は登録商標である可能性があり、無償での使用が保証されているものではありません。Open-Xchange Inc. は原則的に、製造元によるつづりの表記に従います。このドキュメントでは（注釈を付記せずとも）ブランド名、商標、ロゴなどを使用していますが、（商標とブランド名に関する法律により、）これらのブランド名等を無償で使用できることを示すものではありません。

目次

1 このドキュメントについて	5
2 Guard の概要	7
3 Guard	9
3.1 セットアップ <i>Guard</i>	10
3.2 メールの暗号化	11
3.2.1 暗号化されたメールの閲覧	11
3.2.2 暗号化されたメールの送信	11
3.2.3 外部の宛先へのアクセス	12
3.3 ファイルの暗号化	13
3.3.1 ファイルの暗号化	13
3.3.2 新しい暗号化ファイルの作成	13
3.3.3 暗号化ファイルを開く	13
3.3.4 暗号化ファイルのダウンロード	14
3.3.5 ファイルの復号	14
3.4 Guard からのサイン アウト	15
3.5 Guard セキュリティ設定	16
索引	19

1 このドキュメントについて

このドキュメントを活用するために理解しておくべき情報を次のトピックごとに説明します。

- [このドキュメントの対象読者](#)
- [このドキュメントに記載されている内容](#)
- [その他のヘルプ](#)

このドキュメントの対象読者

このドキュメントは、許可されていないアクセスに対し、メールやファイルを保護するための暗号化機能を使用するユーザを対象にしています。

このドキュメントに記載されている内容

このドキュメントは、次の情報が含まれます。

- [Guard の概要](#) では、Guard の概要について説明します。
- [Guard](#) では、Guard の使用方法について説明します。

このドキュメントでは、グループウェアの一般的なインストール方法と構成方法について説明します。ご利用のグループウェアのインストールバージョンならびに構成によっては、記載の方法と異なる場合があります。

その他のヘルプ

グループウェアに関する全般的な情報はOX App Suite のユーザ ガイドを参照してください。

2 Guard の概要

Guard は、メールおよびファイルを暗号化するグループウェア セキュリティ コンポーネントの一つです。

- 他のユーザや外部パートナーとやりとりするメールを暗号化します。
- 単体ファイルを暗号化します。暗号化されたデータを他のユーザと共有します。
- セキュリティ オプションを使用して、暗号化レベルを指定します。
- 暗号化の期間や有効期限を指定します。
- 暗号化されたデータをパスワードで保護します。また、パスワードリセット機能を使用して、パスワードを紛失しても暗号化ファイルを処理します。

3 Guard

Guard アプリケーションの使用方法を次のトピックごとに説明します。

- 基本設定の [適用](#)
- [メール](#) の暗号化
- [ファイル](#) の暗号化
- セキュリティ設定の [適用](#)

3.1 セットアップ Guard


Guard を使用するには、基本設定を行う必要があります。

- まず、Guard セキュリティ パスワードを入力します。このパスワードは、データの暗号化と、暗号化されたデータにアクセスするために必要になります。
- 二番目のメール アドレスを入力します。このメール アドレスは、お使いの Guard セキュリティ パスワードを忘れたときに使用します。これには、Guard セキュリティ パスワードのリセット機能を使用します。新しいパスワードが送信されます。セキュリティ上の理由により、二番目のメール アドレスを設定しておくことを強くお勧めします。設定しない場合、新しいパスワードは、既定のメール アカウントに送信されます。


基本設定を行う方法には、二種類あります。

- **初めて暗号化機能を使用するとき** の基本設定のセットアップ
- **初めて暗号化機能を使用する前** にグループウェア設定ページ上での基本設定のセットアップ

初めて暗号化機能を使用するときの基本設定をセットアップする

1. 暗号化 アイコン  をクリックし、メールの作成時、ファイルの暗号化時、または、新規ファイルのアップロード時で、暗号化機能を有効にします。
2. Guard セキュリティ パスワードと二番目のメール アドレスを入力するよう、促されますので、データを入力します。

初めて暗号化機能を使用する前に基本設定をセットアップする

1. メニュー バーの右側にある システム メニュー アイコン  をクリックします。メニューで、設定の項目をクリックします。
2. サイドバーで、Guard セキュリティ設定 をクリックします。
Guard セキュリティ設定を初めて選択すると、Guard セキュリティ キーを作成 ウィンドウが開きます。
3. パスワード フィールドで、データを暗号化するためのパスワードを入力します。
確認 フィールドで、同じパスワードを再度入力します。
4. 新しい二番目のメール アドレスを入力 フィールドで、Guard セキュリティ パスワードをリセットするための一時パスワードを受け取るメール アドレスを入力します。
5. OK をクリックします。

3.2 メールの暗号化


次のようなオプションがあります。

- 暗号化されたメールの閲覧
- 暗号化されたメールの送信
- 外部の宛先へのアクセス

3.2.1 暗号化されたメールの閲覧

暗号化されたメールを閲覧するには、Guard セキュリティ パスワードが必要です。暗号化されたメールの差出人は、追加のパスワードでメールを保護できます。

暗号化されたメールを閲覧する

1. 暗号化 アイコン  が付いたメールを選択します。詳細ビューで、セキュアなメールです。Guard セキュリティ パスワードを入力してください。が表示されます。
2. Guard セキュリティ パスワードを入力します。
セキュリティ パスワードを記憶する期間を指定できます。これには、Guard へのログインを保持 を有効にします。一覧から目的の値を選択します。
差出人は、追加のパスワードでメールを保護している可能性があります。この場合、対かの入力フィールドが表示されます。この入力フィールドに追加のパスワードを入力します。
3. OK をクリックします。


注： 暗号化されたメールを使用している場合は、このメールに返信したり、転送のみできます。

3.2.2 暗号化されたメールの送信

次のようなオプションがあります。

- 暗号化メールを送信
警告： 暗号化されたメールの送信時に、その下書きが 下書き フォルダから削除されます。
- 詳細機能の使用 して、セキュリティ レベルを上げる
- ブロック による暗号化された送信メールの取り消し

暗号化されたメールを送信する


1. メール アプリケーションでメールを作成します。
新規メールを作成 ページで、右上の 暗号化 アイコン  をクリックします。
左側にある セキュリティ オプション をクリックし、Guard を有効化 を選択します。
2. セキュリティ レベルを上げるには、詳細機能の使用 が行えます。有効期限または期間を設定し、追加のパスワードを使用します。
3. セキュア送信 をクリックします。
外部の宛先に送信するとき、暗号化されたメールを開くときの注意事項 [12] を外部の宛先に送信するためのウィンドウが表示されます。

メールの送信時に詳細暗号化機能を使用する

前提条件： 新規メールを作成 ページが選択されている必要があります。

1. 新規メールを作成 ページで、左側の セキュリティ オプション をクリックします。
2. 追加のパスワードでメールの暗号化をさらに強めるには、追加パスワードが必要 を有効にします。追加パスワード ウィンドウが表示されます。
パスワード と 確認 の各フィールドに追加のパスワードを入力します。OK をクリックします。
3. 暗号化されたメールの表示期限を設定するには、次の時間でメールを取り消す： から目的のエントリを選択します。

暗号化されたメールをブロックする

1. Open the **送信済みオブジェクト** フォルダを開きます。暗号化された送信メールを選択します。
2. 入力を求められたら、Guard セキュリティ パスワードを入力します。
セキュリティ パスワードを記憶する期間を指定できます。これには、Guard へのログインを保持 を有効にします。一覧から目的の値を選択します。
差出人は、追加のパスワードでメールを保護している可能性があります。この場合、対かの入力フィールドが表示されます。この入力フィールドに追加のパスワードを入力します。
3. 詳細バーで、さらに表示... アイコン  をクリックします。メニューで、取り消す をクリックします。宛先はメールを閲覧できなくなります。

3.2.3 外部の宛先へのアクセス

グループウェアのユーザでない外部の宛先に、暗号化されたメールを送信することもできます。この場合、次のことが行われます。

- 特別なアカウントが外部の宛先に自動的にセットアップされます。
- 暗号化されたメールに関する通知またはカスタムの通知を自動的に作成し、外部の宛先に送信するかどうかを設定します。
- 通知が添付されたメールと自動作成されたパスワードを外部の宛先に送信します。
グループウェアの設定によって、4桁のPIN番号を受取人に送信し、自動作成されるパスワードをさらに強化できます。
- 特別なアカウント用のログイン ページへのリンクが添付されたメールを外部の宛先に送信します。
- 外部の受取人は、自分のメール アドレスと自動作成されたパスワードを入力します。
- このアカウントに初めてログインするとき、外部の受取人は、自動作成されたパスワードを変更するよう求められます。暗号化されたメールが表示されます。
- 外部の受取人はこのメールに対して、暗号化されたメールを返信できます。

3.3 ファイルの暗号化

次のようなオプションがあります。



- ファイルの暗号化
- 新しい暗号化ファイルの作成
- 暗号化ファイルを開く
- 暗号化ファイルのダウンロード
- ファイルの復号

3.3.1 ファイルの暗号化

ファイルの暗号化時には、そのファイルの最新バージョンのみが暗号化されます。その他のすべてのバージョンは削除されます。

ファイルを暗号化する


警告: ファイルの暗号化時には、そのファイルの最新バージョン以外のすべてのバージョンが削除されます。過去のバージョンを維持するには、ファイルの暗号化前に保存してください。

1. *Drive* アプリケーションでは、詳細ビューで、ファイルをクリックします。ポップアップで、**さらに表示...** アイコン  をクリックし、メニューで、**暗号化** をクリックします。ファイルを選択することもできます。ツールバーで、**さらに表示...** アイコン  をクリックします。メニューで、**暗号化** をクリックします。
2. **ファイルを暗号化** ウィンドウが表示されます。ファイルの暗号化と過去のすべてのバージョンの削除を確定するには、**OK** をクリックします。

3.3.2 新しい暗号化ファイルの作成

ローカル ファイルを暗号化した上でアップロードすることによって、新しい暗号化ファイルを作成できます。

新しい暗号化ファイルを作成する

1. フォルダ ツリーで、フォルダを開きます。
注: オブジェクトを作成する権限のあるフォルダを開きます。
2. ツールバーで、**新規** をクリックします。**新規ファイルをアップロード** をクリックします。
3. **新規ファイルをアップロード** ウィンドウで、**ファイルを選択** をクリックします。1 つまたは複数のファイルを選択します。
右上にある **暗号化** アイコン  をクリックします。
4. **説明** フィールドで、ファイル情報を入力できます。
5. メニューで、**暗号化** をクリックします。

ヒント: お使いのオペレーティング システムのデスクトップからファイルをドラッグし、*Drive* アプリケーション ウィンドウの上部にドロップすることでも、新しい暗号化ファイルを作成できます。

3.3.3 暗号化ファイルを開く

暗号化されたファイルを開き、閲覧できます。ファイルは、サーバ上で暗号化されたままになります。


暗号化されたファイルを開く

1. *Drive* アプリケーションでは、詳細ビューで、ファイルをクリックします。ポップアップで、**復号して開く** をクリックします。
2. *Guard* セキュリティ パスワードを入力 ウィンドウで、*Guard* セキュリティ パスワードを入力します。セキュリティ パスワードを記憶する期間を指定できます。これを行うには、**パスワードを記憶** を有効にします。一覧から目的の値を選択します。
OK をクリックします。

3.3.4 暗号化ファイルのダウンロード

暗号化ファイルをローカルにダウンロードし、閲覧または編集できます。ファイルは、サーバ上で暗号化されたままになります。



暗号化されたファイルをダウンロードする

1. *Drive* アプリケーションでは、詳細ビューで、ファイルをクリックします。ポップアップで、**さらに表示...** アイコン  をクリックし、**復号されたファイルをダウンロード** をクリックします。
注: ポップアップで、**ダウンロード** をクリックすると、ダウンロードされたファイルが暗号化されたままになります。
2. *Guard* セキュリティ パスワードを入力 ウィンドウで、*Guard* セキュリティ パスワードを入力します。
OK をクリックします。

3.3.5 ファイルの復号

ファイルを復号すると、ファイルの暗号を解除できます。

ファイルを復号する


1. *Drive* アプリケーションで、詳細ビューで、暗号化されたファイルをクリックします。ポップアップで、**さらに表示...** アイコン  をクリックし、メニューで、**暗号化を削除** をクリックします。
ファイルを選択することもできます。ツールバーで、**さらに表示...** アイコン  をクリックします。メニューで、**暗号化を削除** をクリックします。
2. *Guard* セキュリティ パスワードを入力 ウィンドウで、*Guard* セキュリティ パスワードを入力します。セキュリティ パスワードを記憶する期間を指定できます。これを行うには、**パスワードを記憶** を有効にします。一覧から目的の値を選択します。
OK をクリックします。

3.4 Guard からのサイン アウト

グループウェアを閉じずに Guard からサイン アウトできます。サイン アウト後に暗号化されたメール、ファイル、フォルダを開くには、Guard セキュリティ パスワードを再度入力します。

注: この機能は、暗号化されたメールやファイルを開いたときに **パスワードを記憶** を有効にしたときのみ、適用されます。

Guard からサイン アウトする


1. メニュー バーの右側にある **システム メニュー アイコン**  をクリックします。
2. メニューで、**Guard をサイン アウト** をクリックします。

3.5 Guard セキュリティ設定

次のようなオプションがあります。

- Guard の既定設定を [カスタマイズ](#)
- Guard セキュリティ パスワードの [変更](#)
- Guard セキュリティ パスワードを忘れた場合、二番目のメール アドレスに一時パスワードを送信できます。これを行うには、Guard セキュリティ パスワードを [リセット](#) します。
- 二番目のメール アドレスを [変更](#)

Guard の既定設定を変更する


1. メニュー バーの右側にある **システム メニュー アイコン**  をクリックします。メニューで、**設定** の項目をクリックします。
2. サイドバーで、**Guard セキュリティ設定** をクリックします。
3. **既定** の下にある設定を変更します。

次のような設定があります。


新規メールの作成時に Guard 機能を使用

新規メールを既定で暗号化するかどうかを指定します。このプリセット オプションにかかわらず、暗号化または復号して送信するかどうかをメールごとに指定できます。


Guard セキュリティ パスワードを変更する

1. メニュー バーの右側にある **システム メニュー アイコン**  をクリックします。メニューで、**設定** の項目をクリックします。
2. サイドバーで、**Guard セキュリティ設定** をクリックします。
3. **パスワード** の下にある **現在の Guard セキュリティ パスワード** を入力 フィールドで、これまでデータを暗号化するのに使用したパスワードを入力します。
新しい Guard セキュリティ パスワード を入力 フィールドで、今後データを暗号化するのに使用するパスワードを入力します。
現在の Guard セキュリティ パスワードを確認 フィールドにパスワードを再度入力し、パスワードを確認します。
4. **Guard セキュリティ パスワードを変更** をクリックします。

Guard セキュリティ パスワードをリセットする

1. メニュー バーの右側にある **システム メニュー アイコン**  をクリックします。メニューで、**設定** の項目をクリックします。
2. サイドバーで、**Guard セキュリティ設定** をクリックします。
3. **Guard セキュリティ パスワードをリセット** をクリックします。二番目のメール アドレスに新しいパスワードが送信されます。
二番目のメール アドレスが入力されていない場合、新しいパスワードが既定のメール アドレスに送信されます。
4. この新しいパスワードが今後使用できる Guard セキュリティ パスワードになります。このパスワードは、必ず [変更](#) してください。

暗号化パスワードをリセットするための二番目のメール アドレスを変更する

1. メニュー バーの右側にある **システム メニュー アイコン**  をクリックします。メニューで、**設定**の項目をクリックします。
2. サイドバーで、**Guard セキュリティ設定** をクリックします。
3. データを暗号化するためのパスワードを **現在の Guard セキュリティ パスワード**を入力 フィールドに入力します。このフィールドは、**二番目のメール アドレス**の下にあります。
新しい二番目のメール アドレスを入力 フィールドで、Guard セキュリティ パスワードをリセットするための一時パスワードを受信するメール アドレスを入力します。
メール アドレスを変更 をクリックします。

索引

シンボル

- サイン アウト
 - パスワードの変更, 15
- ドキュメント, 5
- パスワードのリセット, 16
- パスワードの変更, 16
- ファイルの暗号化, 13
- ファイルを復号する, 14
- メールの暗号化, 11
- 新しい暗号化ファイルを作成する, 13
- 暗号化
 - ファイル, 13
 - メールの暗号化, 11
 - 新しい暗号化ファイルの作成, 13
- 暗号化されたメール
 - 外部の宛先へのアクセス, 12
- 暗号化されたメールの送信
 - ブロック, 11
 - 送信, 11
- 暗号化されたメールの閲覧
 - 閲覧, 11
- 暗号化ファイル
 - ダウンロード, 14
 - 復号, 14
 - 開く, 13
- 暗号化ファイルをダウンロードする, 14
- 暗号化ファイルを開く, 13

G

- Guard, 7, 9
 - のセットアップ, 10
 - サイン アウト, 15
 - セキュリティ設定, 16
- Guard 設定
 - パスワードのリセット, 16
 - パスワードの変更, 16
 - 新規メールの作成時に Guard 機能を使用, 16

